

専修大学は、
挑戦する意欲を持った
すべての学生を応援します。



専修大学は、21世紀ビジョンとして

「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を掲げています。

社会知性とは、「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、

深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により

主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」です。



自分の実力で、
人生を切りひらく。



ACCOUNTANT

会計士講座

COURSE GUIDE 2025





FIND YOUR DREAM!

自分の実力で、人生を切りひらく。
スキルが可能にする未来がある。

主催／専修大学エクステンションセンター 提携／大原学園

INDEX

- | | | | |
|----|-----------------------|----|--------------------|
| 01 | 目次・学長メッセージ | 07 | 会計士入門講座(選抜個別コース) |
| 02 | 講師からのメッセージ | 08 | 会計士上級講座/会計士特別プログラム |
| 03 | 公認会計士の「中身」を知ろう! | 09 | 合格者座談会 |
| 04 | 会計士講座について | 10 | 合格者からのメッセージ |
| 05 | 会計士入門講座(会計士コース・簿記コース) | | |

Message from the President 学長メッセージ



専修大学長
佐々木 重人

自信と誇りとチャレンジ精神を!

本学は、明治維新後、アメリカのハーバード大学、エール大学、コロンビア大学、ラトガース大学に留学した4人の若き創立者たちによって、明治13年に創立されました。日本初の経済科、私学初の

法律科を置く私立専門学校であり、五大法律学校としての歴史を有しています。そして、創立以来今日まで、高等教育機関としての役割を果たしてきました。専門教育により近代日本の人的基盤を整備しようとした創立者たちの熱き思いは、今日では「社会知性の開発」という本学の21世紀ビジョンの中に継承されています。新入生の諸君にあっては、本学が私学教育の先駆けとして重要な役割を果たしてきた伝統校であることを認識し、自信と誇りをもって大学生活に精進してもらいたいと思います。大学は自己の可能性を追求する場です。本学のエクステンションセンターでは、平成13年度から「会計士講座」

を開講し、多くの合格者を輩出するとともに、今も学部学科を問わず沢山の受講生が目的意識をもって学んでいます。公認会計士を目指す学生諸君は、この講座を利用することによって、経済的にも時間的にも有意義な学生生活を送ることができると思います。本学の創立者たちの熱き思いに誇りをもち、何事にもチャレンジ精神をもって取り組み、自己変革を遂げてくださることを期待しています。必ずや、意志あるところに道は拓かれます。専修大学は学生を全力で応援します。

※本誌は2025年度入学生向けの講座実施体制を掲載しているため、2026年度以降の入学生に対しては、講座の内容を変更する可能性があります。
※メッセージを掲載している受講生、合格者の学年は2024年度のものです。

Messages from Lecturers 講師からのメッセージ



公認会計士試験
合格のための
最適な受験環境を
提供しています

永瀬 幹根先生

総合プロデューサー

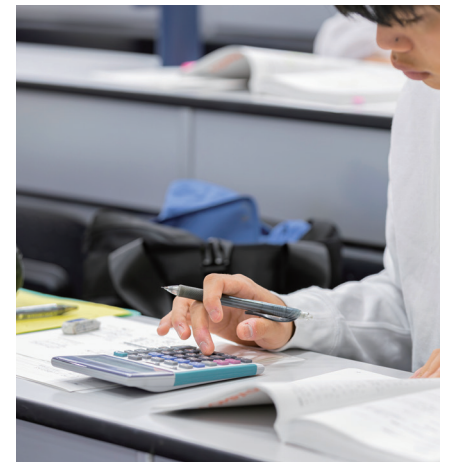
一人ひとりと真剣に向き合う受験指導の経験と長年にわたる公認会計士試験の傾向分析を基に、多くの学生を合格に導くメソッドを提供する。

この度は専修大学に合格されましたこと、誠にありがとうございます。これからの大学生活への期待と不安の入り混じった気持ちではないでしょうか。大学生活では何に時間を使いますか?サークル活動でしょうか。アルバイトでしょうか。友人と遊んで過しますか。4年間という限定した期間

だけを充実させるのであれば、それも一つかもしれませんが、その先には社会人としての長い人生があります。この4年間を充実させるのではなく、その先にある人生を充実させるためのスタートとして大学生活を過ごしてみたいかがでしょう。将来を見据え、自分の目指すべき目標を決め、それに向かって、メリハリのついた大学生活を過ごしてみませんか。

ここで、ビジネスライセンスの最高峰と言われる公認会計士の資格をご紹介します。公認会計士にしかできない独占業務が監査業務です。これは財務諸表と呼ばれる企業の成績表(どれくらい儲けたかやどれくらい財産があるかが分かる書類)が正しいかどうかをチェックする仕事です。大きな会社にはたくさんの利害関係者がいます。たとえば、その会社の株主や銀行などです。こうした利害関係者は財務諸表の情報をもとに株を持ち続けるかどうか、お金を貸すかどうかを判断

します。言い替えれば財務諸表の情報が正しくないと株取引やお金の貸借が成立しなくなります。そこで公認会計士が第三者の立場から正しいかどうかチェックするのです。社会のインフラとして不可欠な業務を遂行するのが公認会計士といえるでしょう。公認会計士試験は難しい試験です。だからこそ、価値があります。社会的な評価、信頼が得られ、その働きに対して相応しい対価を得られます。我々は皆さんに会計の知識だけではなく、正しい勉強方法をお伝えしてまいります。公認会計士試験は「正しい勉強を継続する」ことができれば誰もが合格できる試験です。本気で公認会計士を目指してみませんか。



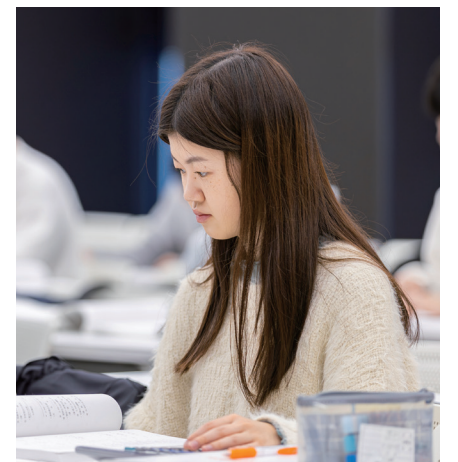
目の前にある
チャンスを
掴みましょう!

土屋 雄嗣先生

入門講座 会計士コース・簿記コース(簿記初学者対象)担当

会計を学ぶ上で簿記(帳簿記入の略)の知識は不可欠です。簿記初学者の方からは「数学が苦手なので…」「普通高校出身者は公認会計士試験に合格できないですよ?」とご相談・ご質問を受けます。いえ、いえ。ご安心ください。講座受講生の9割以上は簿記未経験者ですが、簿記検定試験の全国合格率を毎回大幅に上回る合格実績のある講座です。また、公認会計士試験の合格者は簿記の経験値に関係なく色々な学部、学科から輩出

されております。少しでも会計に興味がある方は、受講をお勧めいたします。ここ数年簿記検定は3級でも独学合格は難しくなっています。合格のためには「科目の性質・出題傾向」なども考えた取り組みが必要です。この講座では、会計上位級受験のために「資格試験での姿勢・戦い方」について簿記3、2級受験を通じてマスターします。「どのような思考が必要なのか」「何をすればよいのか」を考え行動に移す等を身につけて2年目以降の公認会計士の勉強へ繋げていきます。公認会計士の資格は社会的信用度も高いことから、皆さんの将来の仕事の幅を格段に広げてくれます。さあ、目の前にあるチャンスを逃さないでください。一緒に合格へ向けて頑張りましょう。



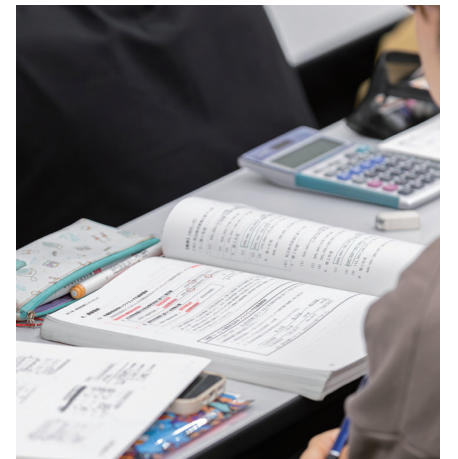
大学2年次での
試験突破も
目指せます

永井 一樹先生

入門講座 選抜個別コース(簿記学習経験者対象)担当

選抜個別コースでは、高校までに簿記2級以上の学習経験のある方を対象に公認会計士を目指す方にとって最適なカリキュラムをご用意しております。簿記経験者たるアドバンテージを活かし、1年次の11月には日商簿記検定1級に挑戦していただきます。正直、ハードな目標ですがこれに挑戦することでレベルアップを図ることができ、専修大学在学中の公認会計士試験合格を確実にしていきます。

また、高校までに既に日商簿記1級に合格されている方を対象とした特別なカリキュラムもご用意しております。具体的には、大学1年次の12月に公認会計士試験の短答式試験を受験、合格を目標とし、大学2年次で論文式試験の合格を目指します。これにより、大学2年次の試験突破を目指すとともに、専修大学在学中の公認会計士試験合格の可能性を更に高めます。その他、学習が順調に進んでいる成績優秀者の方には理論科目対策を並行していたりカリキュラムもご紹介します。専修大学会計士講座の選抜個別コースでは、簿記経験者としての利点を最大限活かせるようサポートして参ります。やる気のあるチャレンジ精神豊富な方、是非ともお待ちしております。



What is a certified public accountant?



公認会計士の「中身」を知ろう！
社会のトップで活躍する、会計のプロフェッショナル

公認会計士とは

公認会計士(Certified Public Accountant 略称CPA)は、1948年、公認会計士法の制定に伴い誕生しました。企業がビジネスをしていく上で、絶対欠かせない財務書類の監査・証明等を請け負うのが公認会計士の主要な仕事です。とても高度な専門知識とスキルが要求される職業で、社会になくてはならない大切な仕事です。試験合格後、一般的には監査法人、公認

計士事務所、コンサルティング・ファームなどが就職先として考えられますが、最近ではビジネスの多様化・国際化が進むとともに大きな法改正・制度改革が続き、企業経営に会計的スキルと法令遵守(compliance)が要求される時代となったため、公認会計士が活躍する舞台は経済社会のあらゆる場面に拡大してきました。

公認会計士の業務内容

監査

公認会計士のみに許された資格業務です。企業は決算書類(財務諸表)を作成し、株主や投資家、銀行に対して自社の財務・経営状況を公表しますが、公認会計士は、株主や一般投資家、債権者に代わって利害関係のない第三者として、財務書類に虚偽や不備がないかを厳正な目で確認し、証明します。

コンサルティング

企業の立場に立って、会計や経営戦略の調査・立案・指導を行うのがコンサルティング業務です。近年では会計に関するプロとして公認会計士の助言が求められる場面が急増しています。さらに、会計以外の専門分野にも知識を広げ、その能力を存分に発揮している公認会計士も注目を浴びています。

税務

公認会計士は登録するだけで税理士の資格も取得できます(税理士法第3条)。税務書類の作成から税務相談など税務面でも幅広い活躍の場がおのずから開けるわけです。近年では海外進出を目指す企業から、各国の税制などへの対処法について助言を求められる機会も多く、「国際税務」への関心が急速に高まっています。

公認会計士の試験制度



Introduction 会計士講座について

合格までの専大カリキュラム

専大カリキュラムは、大原学園との提携により、公認会計士試験科目の知識が全くない人でも着実にレベルアップが図れる内容となっています。また、日商簿記検定2級以上の学習経験者には、入学後すぐに公認会計士試験の学習を行う「選抜個別コース」を用意していますので、時間を無駄にすることなくハイレベルな学習が可能です。

会計士講座の概要

講座の目的

会計関係資格(公認会計士、日商簿記検定等)に興味をもつことにより、公認会計士に向けた勉強へと導き、在学中の公認会計士試験合格を目指します。

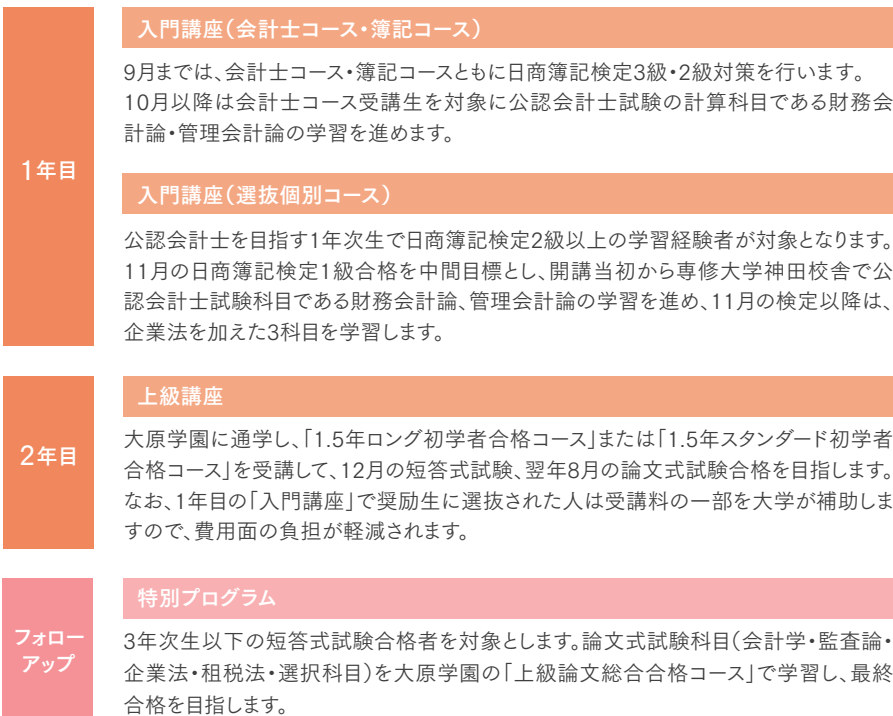
講座の特徴

POINT 01 **大学の授業を考慮したスケジュール**
1年目は講座の大部分を大学の校舎で実施するため、大学の授業との両立がしやすく、無駄のない学習ができます。

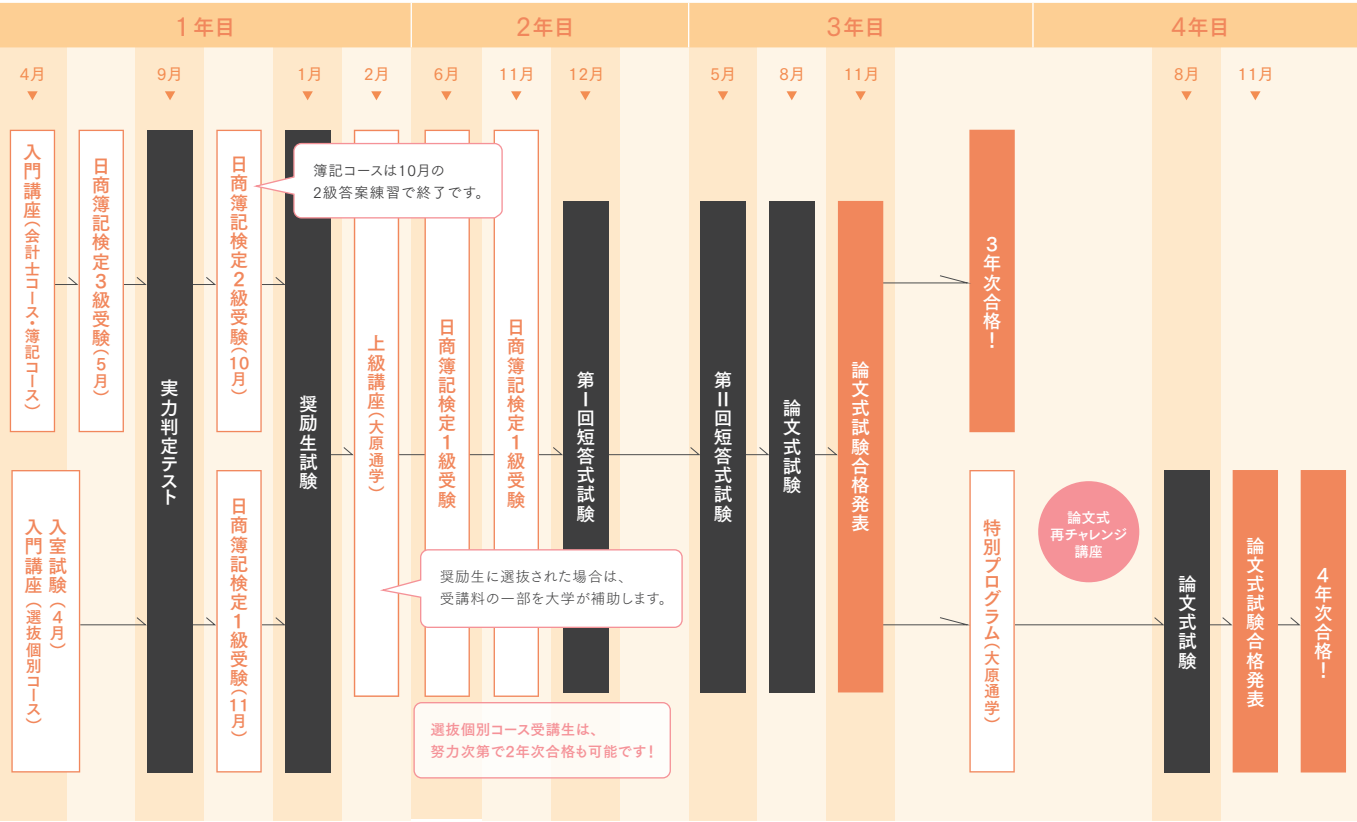
POINT 02 **簿記学習経験者への対応**
講座開始段階で簿記の学習が進んでいる受講生には、「選抜個別コース※P07参照」を設けています。

POINT 03 **費用面のサポート**
成績や出席状況が特に優秀な受講生には、「奨励生制度(選抜制)※P05参照」を設けており、費用面でのサポートを行っています。

講座の内容



Curriculum カリキュラム内容



1年目 About the 1st year curriculum

夢へのスタートライン。目標に向かって走り出す。

会計士入門講座 (会計士コース・簿記コース)

Information(予定)

開講場所	開講期間	開講日数	定員	ガイダンス	受講料
神田校舎・生田校舎	4月中旬～翌年2月上旬	週3日程度	各校舎200名	4月上旬	会計士コース:93,000円 簿記コース:69,000円

※簿記コースは日商簿記検定2級合格を目指す講座設定になっています。簿記コース受講生で講座の継続を希望される場合は、会計士コースへのコース変更ができます。(別途追加受講料が必要になります) ※一部オンライン(Web)講義で実施します。※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。※一旦納入した受講料は、どのような理由があっても返金できません。※夏特訓・実力判定テスト・年末計算特訓・奨励生試験は神田校舎で実施いたします。生田の学生は前記期間のみ神田校舎へ通学していただきます。

入門講座カリキュラム

公認会計士試験のイントロダクションとなる講座です。簿記検定取得を初期の目標としつつ、週3回程度のペースで講座を進めていきます。会計の初心者様が、着実にステップアップできるよう講義が進行します。通常講義に加え、「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」など常に受講生の学習意欲が維持できるフォロー体制を整えています。なお、成績や出席状況が特に優秀な受講生に対しては、2年目の講座費用の一部を大学が補助する「奨励生制度(選抜制)」を設けています。

■ ヤル気を引き出す特別フォロー体制！

POINT
01

1年目は学内で実施

1年目はほとんどの講義を学内で実施するので、大原学園への移動時間や交通費もかかりません。また、大学の授業を考慮してスケジュールを組んでいるので、授業との両立もできます。

POINT
02

日商簿記検定3級・2級の学習からスタート

会計の初心者からでも始められるよう、まずは5月に日商簿記検定3級、10月に2級の取得を初期の目標にしているので、安心して学習をスタートできます。

POINT
03

公認会計士試験科目を強化

10月からは「財務会計セレクト」、「管理会計セレクト」の学習を行い、公認会計士試験の計算科目を強化します。(会計士コースのみ)

POINT
04

充実したフォロー体制

「夏特訓」、「年末計算特訓」、「個別面談」などのフォローにより、常に受講生の学習意欲が維持できる体制を整えています。



奨励生制度

講座の途中で奨励生を選抜！

本講座では、講座を熱心に受講し、成績が特に優秀であり、公認会計士試験合格への熱意をもつ受講生を奨励生として選抜しています。奨励生に選抜されると、2年目の会計士上級講座の受講料(約59万円)の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。選抜にあたっては、奨励生試験(筆記試験・面接試験)、簿記検定の成績、日頃の講座出席状況などから判定します。



Schedule スケジュール(予定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
ガイダンス	会計学/財務会計論											
	財務会計入門Ⅰ レクチャー (簿記3級・商業簿記)		財務会計入門Ⅱレクチャー (簿記2級・商業簿記)					財務会計セレクト (会計士・財務会計論)				
	会計学/管理会計論		入門レクチャー (簿記2級・工業簿記)					管理会計セレクト (会計士・管理会計論)				
	企業法(Web講義)		企業法セレクト (会計士・企業法)									
	● 日商簿記検定3級受験		● 個別面談		● 夏特訓 (神田校舎で実施)		● 実力判定テスト (神田校舎で実施)		● 日商簿記検定2級受験		● 個別面談	
							● 年末計算特訓 (神田校舎で実施)		● 合格者座談会		● 奨励生試験 (神田校舎で実施)	

1年目 About the 1st year curriculum スタートダッシュ、よりはやく、より先へ。

会計士入門講座（選抜個別コース）

Information（予定）

開講場所	開講期間	開講日数	定員	ガイダンス	受講料
神田校舎及び大原学園東京水道橋校	4月中旬～翌年2月上旬	週4日程度	40名	4月上旬	93,000円

開講条件

①公認会計士を目指す意志があること。②日商簿記検定2級以上の学習経験があること。③1年次生であること。④入室試験に合格すること。4点をいずれも満たした者

※「入室試験」不合格者は「会計士入門講座（会計士コース）」を受講していただきます。※一部オンライン（Web）講義で実施します。※曜日・時間はガイダンスにてお知らせします。※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。

選抜個別コースカリキュラム

日商簿記検定2級以上の学習経験がある1年次生を対象とし、確実かつ早期に公認会計士試験合格を目指す講座です。開講当初から、公認会計士試験の計算科目である「財務会計論」、「管理会計論」の学習を週4回程度のペースで進め、学習の理解度を確保するための中間目標として11月の日商簿記検定1級にチャレンジします。簿記検定以降は、「企業法」を加えた3科目を並行して学習していきます。また、学習の進捗状況が特に進んでいると認められた受講生を対象に、「理論科目先行学習制度」を設けています（選抜制）。この制度を利用すれば、通常の講座で学習する計算科目と並行して理論科目の学習に取り組むことで、より早期の公認会計士試験合格が可能となります。

Schedule スケジュール（予定）

		Web講義		対面講義		※1.日商簿記検定（1級）対策を含む。		※2.大原学園東京水道橋校にて対面講義。					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
ガイダンス	会計学/財務会計論				I・II・IV・Vレクチャー								
					IIIレクチャー※1								
	会計学/管理会計論				I・IIレクチャー								
	企業法										企業法レクチャー※2		
	●入室試験				●個別面談				●計算特訓			●実力判定テスト	
									●1級受検	●個別面談	●合格者座談会	●年末計算特訓	●奨励生試験

早期合格に向けたムダのない学習！

POINT 01 試験により受講生を選抜
当講座の受講には、4月に実施する「入室試験」の合格が必須となります。この試験は日商簿記検定2級レベルの問題を出題します。

POINT 02 経済的サポート制度
会計士入門講座（会計士コース・簿記コース）と同様に、「奨励生制度」を設けています。奨励生に選抜されると、2年目の会計士上級講座の費用負担が軽減されます。

POINT 03 日商簿記検定1級取得者への特別カリキュラム
大学入学時に日商簿記検定1級をすでに取得している人には、2年次での公認会計士試験合格を目指したカリキュラムを提供します。

POINT 04 学習の進捗状況で最短2年次合格可能
余力がある人には、通常の講義に加えて理論科目（財務会計論理論、監査論、企業法）対策も並行して行います。これにより、最短で2年次での合格が可能になります。
※理論科目対策は、別途追加受講料が必要になります。詳しくはガイダンスでお知らせします。

会計士入門講座
（選抜個別コース）受講生

商学部 会計学科
（埼玉・花咲徳栄高校出身）

川上 慶太さん（1年）

充実したサポート体制

高校時代に日商簿記2級を取得したことで会計に惹かれ、公認会計士を志しました。専修大学の会計士講座には奨励生制度があり講座受講費用が抑えられること、また試験合格後に大学から奨学金が支給されるなど、公認会計士試験に対するサポートが手厚かったことから、専修大学への進学を決めました。選抜個別コースでは入学後すぐに日商簿記1級の勉強を始めることができ、1年次の11月合格も目指せる環境です。また、講義の大部分がWeb（オンデマンド）講義のため、自分のペースで学習を進められるほか、週1～2回の対面講義が大学内で実施されるため、移動時間を短縮できる点もこの講座のメリットです。さらに、同じ公認会計士試験合格を目標とする志の高い友人たちと出会えたことは、講座を受講して本当に良かったと感じる点です。現在は理論科目の先行学習制度を利用し、大学2年次での短答式試験合格を目指して勉強を進めています。卒業後は監査法人に就職して、実務経験を積み、将来的には経理業務に携わりたいと考えています。選抜個別コースは簿記学習経験者が集まるハイレベルな環境ですが、同じ目標を持つ仲間と切磋琢磨しながら勉強できることは、このコースの大きな魅力です。



2年目 About the 2nd year curriculum

苦しみは、より価値ある自分をつくる。

会計士上級講座

Information（予定）

開講場所	開講期間
大原学園各校舎	2月上旬～翌年8月中旬

受講料（20名程度が奨励生として選ばれます）

上級：592,000円 上級（奨励生）：99,000円 [参考：大原一般価格 770,000円]

※奨励生の通学学校舎は、大原学園東京水道橋校に限定します。また、受講コースは「1.5年ロング初学者合格コース」に限定します。※生田校舎の上級講座受講生（奨励生含む）が大原学園に通う場合、通学定期券を購入するための通学証明書は発行できません。※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※2年目以降の受講料は変更となる場合があります。

合格者への経済サポート！

在学中の短答式試験及び論文式試験合格者は、指定試験奨励生の対象となります。（審査を経て短答式合格者には100,000円、論文式合格者には300,000円が支給されます。【2024年度実績】）

会計士上級講座カリキュラム

大原学園に通学し、「1.5年ロング初学者合格コース」または「1.5年スタンダード初学者合格コース」を受講して、12月の短答式試験、翌年8月の論文式試験合格を目指します。なお、1年目の「会計士入門講座」で奨励生に選抜された受講生は受講料の一部を大学が補助しますので、費用面の負担が軽減されます。また、公認会計士試験は日商簿記検定1級と試験範囲が重なるため、受講期間中に簿記1級を取得することも可能です。

大原学園の充実したカリキュラムを受講！

POINT 01 3年次での公認会計士試験合格を目指します。
※選抜個別コース受講生は、努力次第で2年次合格も可能です。

POINT 02 奨励生は、費用負担が軽減されます。

POINT 03 受講期間中に日商簿記検定1級を取得することも可能です。

フォローアップ Extra program ハイレベルな環境で合格ヘラストサポート！

会計士特別プログラム

Information（予定）

開講場所	開講期間	定員	受講料	受講条件
大原学園東京水道橋校	11月下旬～翌年8月中旬	若干名	93,000円	3年次生以下の短答式試験合格者

※一旦納入した受講料はどのような理由があっても返金できません。※受講料は変更となる場合があります。

会計士特別プログラムカリキュラム

在学中に論文式試験に合格するために必要な実力を養成する講座です。短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、大原学園東京水道橋校の「上級論文総合合格コース」で論文式試験に出題される科目を学習し、翌年8月の論文式試験合格を目指します。

論文式試験に向けて徹底的にサポート！

POINT 01 短答式試験に合格している3年次生以下を対象とし、在学中の論文式試験（公認会計士試験最終試験）合格を目指します。

POINT 02 論文式試験（会計学、監査論、企業法、租税法、選択科目）の学習を大原学園東京水道橋校で行います。

■ 公認会計士試験に挑戦する後輩たちへ

会計士入門講座を受講したきっかけ、また公認会計士を目指そうと思ったきっかけについて教えてください。

浅沼 専修大学に入学した時に、大学から送られてきた各講座のパンフレットを見て、面白そうだったのが会計士講座でした。また、会社のビジネスに興味があり、会社を監査という側面から見て、アドバイスができることが魅力だと思い、公認会計士を志望しました。数学が好きだったので、簿記の勉強は楽しく取り組みました。

鳥居 高校まで部活をやっていたこともあり、大学でも何か熱中できるものがあればと思った時に、会計士入門講座の存在を知りました。実際に簿記を学習すると楽しいと感じ、講師から公認会計士を勧められ、目指しました。

松田 専修大学は公認会計士を目指す大学として多くの合格者を輩出していたので、進学を決め、会計士入門講座を受講しました。私は選抜個別コースを受講していて、早くから計算科目の勉強にたくさん取り組めたので、それが後々公認会計士試験の大きなアドバンテージになったと思います。



会計士入門講座受講生は奨励生試験がありますが、試験に向けたアドバイスがあれば教えてください。

浅沼 私は、毎日決めた時間に勉強することが大切だと思います。大学の通学時には演習問題をずっと解いていました。

仲村 私は奨励生にはなれませんでした。ですが、奨励生試験の内容はその後の会計士試験の勉強の基礎になります。奨励生試験に向けて頑張っていれば、公認会計士試験のアドバンテージが作れるので、しっかりと勉強は取り組んだ方がいいと思います。



2年目からは会計士上級講座で大原学園での学習に移行しますが、大原学園に通ってよかったと思うことはありますか。

浅沼 私はほぼ毎日質問することができる講師への質問コーナーがよかったです。大原学園の講師の方々は講義も丁寧に行ってくれすし、講師へ学習の進捗状況を報告することで、定期的に振り返ることができ、面談では体調面のサポートをしてくれたのもありがたかったです。

鳥居 テスト(模擬試験等)の回数が多いことです。公認会計士試験は道のりが長く大変ですが、すぐ目の前にテストという小さい課題がたくさんあることで乗り越えられました。また本試験で出題される問題がテストでも出題されるので、テストの回数が多ければ多いほど、ここで間違えた問題を本試験でミスしなければ合格できるだろうと思えました。

大谷 私は自習室が良かったです。自習室には他の試験を受験する人もいて、常に何かの試験の直前期だったので、勉強しないといけない空気が流れていました。毎日そこに足を運んだことがよかったと思います。



実際に働いている方が感じる、公認会計士の魅力は何ですか。

浅沼 クライアントの業種が幅広いことや、監査以外にも企業のサステナビリティの第三者保証といったSDGsにも関われるのは魅力だと思います。

鳥居 公認会計士はデスクワークが多く、事務作業がメインと思われていますが、実際はコミュニケーションをとる機会が多いです。資料のやり取りだけではなく、クライアント先によっては、地方に出張があって、出張先での美味しいものが食べられる、なんてこともあります。クライアント先から信頼を得るためのコミュニケーション能力はとても重要になると思います。



現在、会計士入門講座を受講している学生へ一言お願いします。

浅沼 公認会計士試験に特殊な能力は不要です。コンスタントに勉強できれば誰でも合格できます。大学生は一番自由に時間を使える時期ですが、公認会計士はその期間を勉強に充てる価値がある資格です。

鳥居 私はメンタルを安定させるため、自分の評価と周りからの評価をプラスマイナスで平均になるように意識していました。テストの点数が良いと先生は褒めてくれますが、そういう時はあえて自分の中で、何かができていない、と評価を落としました。逆に点数が悪くなった時は、ここはできるようになった、と自分を認めてあげるようにしていました。

大谷 毎日コツコツ自分のタスクを決めてやるのが大事だと思います。また、自分に合った勉強法を見つけるのが一番能力を上げることができます。勉強法が分からなくなったら、ぜひ大原学園の先生に相談してください。

仲村 公認会計士試験は、毎日コツコツ勉強していれば誰でも合格できます！

松田 現時点で実力がなくても、頑張ればちゃんと追いついて合格できます！



左から浅沼直樹さん(経営学部経営学科卒業・2019年合格・大手監査法人勤務)、鳥居大暉さん(2022年合格・経済学部現代経済学科卒業・大手監査法人勤務)、大谷迅人さん(2023年合格・商学部会計学科4年次在学中)、松田和喜さん(2024年合格・商学部会計学科4年次在学中)、仲村琉清さん(2024年合格・商学部会計学科4年次在学中)



着実にステップアップできる環境

商学部 会計学科4年
(埼玉・川越市立川越高校出身) 松田 和喜さん

私は高校で簿記を学習したことをきっかけに公認会計士を目指したいと思い、専修大学に入学しました。公認会計士は専門性や社会のニーズが高いため、将来の自分の可能性を広げる魅力的な資格です。しかし、公認会計士の試験範囲は広く膨大な学習量を必要とするため、公認会計士の勉強と大学の授業の両立に大変苦労しました。会計士講座を通じて

勉強をすることで、公認会計士を目指す受験仲間を作りやすいことや、大学の講義を考慮したカリキュラムが組まれていたことでスムーズに勉強をすることができました。また、定期的な講師陣との面談が行われており、その時抱えている悩みや苦手科目の勉強方法などを相談することができ、安心して学習を進めることができました。さらに、会計士講座では2年目以降の講座受講料の一部が大学が補助する「奨励生制度」があることや、試験に合格すれば奨学金が支給されるなど、費用面での手厚いサポートがあります。専修大学では公認会計士を目指す学生を支援する環境が整っているため、多くの学生が公認会計士を目指しており、仲間と切磋琢磨しながら勉強ができることも強みです。ぜひ専修大学で公認会計士を目指してみてください。



正しい努力を継続すれば合格できる試験

商学部 会計学科4年
(山梨・駿台甲府高校出身) 仲村 琉清さん

私は大学に入学してから初めて簿記に触れました。高校時代は数学が大の苦手であったため、数字を扱う簿記や会計を習得できるか不安でした。しかし、実際に勉強を始めてみると数学的な知識は一切不要であり、会計士入門講座を受講することで公認会計士試験に挑戦するために必要となる簿記の知識の土台を築くことができました。専修大学には公認会計士を目指す学生

がたくさんいます。一緒に勉強したり、悩みを共有することができる仲間の存在は、モチベーションを維持し、困難を乗り越える大きな力になります。また、2年目の会計士上級講座以降は大原学園とのダブルスクールになりますが、大原学園の水道橋校と大学の神田キャンパスは非常に近いため、大学の授業との両立もしやすくなっています。さらに、専修大学では「奨励生制度」や合格者への奨学金の支給など、費用面でのフォローも充実しているため、公認会計士を目指すために適した環境が整っています。公認会計士試験は難しい試験ですが、正しい努力を継続すれば、大学に入学してから簿記の勉強を始める人でも十分に合格することのできる試験です。皆さんも目標に向かって日々努力を重ねることで、数年後には入学当初からは想像もできないほど成長した自分に出会えるはずです。ぜひ会計士講座を受講し、公認会計士試験に挑戦してみてください。



専修大学公認会計士試験合格者実績

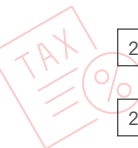
2024年度 12名(5名)

2023年度 29名(11名)

2022年度 21名(11名)

2021年度 17名(9名)

2020年度 12名(8名)



※掲載の数字はエクステンションセンター調べです。※()内の人数は在学生合格者数です。